



2023年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月13日

上場会社名 黒谷株式会社

上場取引所 東

コード番号 3168 URL <https://www.kurotani.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒谷 暁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員業務部長 (氏名) 杉本 護

TEL 0766-84-0001

定時株主総会開催予定日 2023年11月22日

配当支払開始予定日 2023年11月24日

有価証券報告書提出予定日 2023年11月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期の連結業績(2022年9月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	84,594	5.1	532	38.2	227	75.7	170	68.9
2022年8月期	89,102	43.6	862	73.0	936	55.3	547	59.6

(注) 包括利益 2023年8月期 232百万円 (69.7%) 2022年8月期 768百万円 (42.2%)

	1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	%	%	%
2023年8月期	12.03	1.9	0.9	0.6
2022年8月期	38.49	6.1	3.8	1.0

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期 13百万円 2022年8月期 0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	25,067	9,096	36.3	644.86
2022年8月期	25,725	9,218	35.8	648.06

(参考) 自己資本 2023年8月期 9,096百万円 2022年8月期 9,218百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	1,598	57	1,384	1,062
2022年8月期	2,068	343	1,666	770

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年8月期		10.00		10.00	20.00	248	45.5	3.2
2023年8月期		10.00		10.00	20.00	283	166.3	3.1
2024年8月期(予想)		10.00		10.00	20.00			

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,675	21.3	252	119.8	165		117		8.30
通期	72,917	13.8	634	19.1	454	99.8	320	88.3	22.65

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期	14,337,200 株	2022年8月期	14,337,200 株
期末自己株式数	2023年8月期	230,416 株	2022年8月期	112,166 株
期中平均株式数	2023年8月期	14,151,340 株	2022年8月期	14,215,142 株

(参考)個別業績の概要

2023年8月期の個別業績(2022年9月1日～2023年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	84,594	5.1	527	38.2	209	77.4	155	71.5
2022年8月期	89,102	43.6	854	73.3	928	55.2	543	59.0

	1株当たり当期純利益	
	円 銭	
2023年8月期	10.96	
2022年8月期	38.24	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年8月期	24,276		8,892		36.6		630.35	
2022年8月期	25,095		9,062		36.1		637.06	

(参考) 自己資本 2023年8月期 8,892百万円 2022年8月期 9,062百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により上記予想値と異なる場合があります。

業績予想の前提条件等については、【添付資料】「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
役員の異動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く外部環境は、世界的な物価上昇や金融引き締めの影響から景気減速懸念が強まる中、米国経済は雇用・所得環境が底堅く推移して成長を維持しましたが、中国経済はゼロコロナ政策解除後の回復が鈍く、不動産市場も不振が続くなど関連投資は低迷しました。また、依然としてロシアのウクライナ侵攻による供給懸念は続いており、経済全体としては先行き不透明な状態で推移しました。

このような状況から、当社グループの主力取扱製品価格に影響を及ぼす銅価格は、ロンドン金属取引所銅価格期中平均で前年度比10.4%安となったものの、為替相場は13.7%ドル高に推移したことにより、期中平均円ベース価格では1.9%高となりました。

また、販売数量はインゴットでは1.8%、スクラップでは8.3%減少したことにより、全体では前年度比6.6%の減少となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は845億94百万円（前連結会計年度比5.1%減）、営業利益5億32百万円（同38.2%減）、経常利益2億27百万円（同75.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億70百万円（同68.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（非鉄金属事業）

非鉄金属事業の主力取扱製品に影響を与えるロンドン金属取引所銅期中平均円ベースCash価格が前年度比1.9%高く推移したものの、インゴット並びにスクラップの販売量が前年度比6.6%減少したことにより当連結会計年度の売上高は841億98百万円（前連結会計年度比5.1%減）となりました。

品目別では、インゴット売上高は278億56百万円（前連結会計年度比1.1%増）、スクラップ売上高は562億35百万円（同7.8%減）、その他売上高は1億6百万円（同25.6%減）となりました。

（美術工芸事業）

美術工芸事業は、コロナ禍から緩やかな回復基調は見られるものの完全回復には至らず、当連結会計年度の売上高は3億95百万円（前連結会計年度比5.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は218億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億33百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、棚卸資産が4億16百万円増加した一方で、売上債権が5億90百万円、前渡金が4億4百万円減少したことによるものであります。固定資産は32億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。

この結果、総資産は250億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億57百万円減少いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は137億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億88百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、仕入債務が3億74百万円増加した一方で、短期借入金が4億9百万円、1年内返済予定長期借入金が1億91百万円減少したことによるものであります。固定負債は21億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億47百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、長期借入金が3億47百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は159億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億35百万円減少いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は90億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億21百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が1億13百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は36.3%（前連結会計年度末は35.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は10億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は15億98百万円（前年は20億68百万円の支出）となりました。これは主に棚卸資産の増加4億16百万円などの支出に対し、税金等調整前当期純利益2億60百万円、売上債権の減少6億23百万円、仕入債務の増加3億41百万円、前渡金の減少4億4百万円などの収入が発生したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は57百万円（前年は3億47百万円の支出）となりました。これは主に定期預金の預入による支出6億47百万円、有形固定資産の取得による支出3億49百万円などの支出に対し、定期預金の払戻による収入9億51百万円、投資有価証券の売却による収入1億41百万円などの収入が発生したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は13億84百万円（前年は16億66百万円の収入）となりました。これは主に長期借入金の借入9億円の収入に対し、短期借入金の純減額4億75百万円、長期借入金の返済14億39百万円、配当金の支払2億83百万円などの支出が発生したことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期
自己資本比率 (%)	41.2	45.1	36.7	35.8	36.3
時価ベースの 自己資本比率 (%)	34.2	41.6	51.3	33.3	34.1
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	4.9	—	—	7.9
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	22.8	—	—	12.7

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

（注1）連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

（注3）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

（注4）キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

（注5）2019年8月期、2021年8月期及び2022年8月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米欧のインフレ率は低下傾向にあるもののインフレ抑制策、ロシアのウクライナ侵攻による資源・エネルギー・穀物などの商品価格の高騰や、中国のゼロコロナ政策解除後の回復の遅れなど、経済の攪乱要因は多く先行き不透明感は依然残っています。

しかしながら、上記の要因も徐々に市場は織り込み始めておりその悪影響は緩やかながらも解消していくと思われまます。加えて新型コロナウイルス感染症の影響は継続する可能性があるものの、防疫と経済の両立が進展する中で世界経済の底割れはないと考えており、非鉄金属に関する需給についても緩やかながらも改善していくと考えております。

以上のことから業績の見通しの前提条件は下記を想定しております。

- a. 為替レート (TTM) : 135円
- b. 銅価格 : 8,500ドル
- c. ニッケル価格 : 21,500ドル
- d. 銅建値 : 1,196.00円/kg

以上の見通しを踏まえ、翌連結会計年度(2024年8月期)の連結業績見通しにつきましては、連結売上高は729億17百万円(前連結会計年度比13.8%減)、営業利益は6億34百万円(同19.1%増)、経常利益は4億54百万円(同99.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億20百万円(同88.3%増)を予想しております。

当該予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化等により業績予想と乖離する結果になりうることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、会計基準につきましては日本基準を適用する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,275,348	1,263,125
受取手形	126,753	99,392
売掛金	9,120,894	8,486,317
電子記録債権	1,435,121	1,506,501
商品及び製品	842,471	892,747
仕掛品	238,081	233,750
原材料及び貯蔵品	5,691,252	6,061,668
前渡金	1,798,050	1,393,176
関係会社短期貸付金	—	29,260
未収消費税等	1,496,901	1,641,518
その他	464,396	248,223
流動資産合計	22,489,273	21,855,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	352,807	437,454
機械装置及び運搬具(純額)	265,726	368,707
土地	1,521,121	1,521,121
その他(純額)	294,600	131,700
有形固定資産合計	2,434,255	2,458,984
無形固定資産		
ソフトウェア	49,595	36,937
その他	1,793	1,793
無形固定資産合計	51,388	38,730
投資その他の資産		
投資有価証券	708,575	653,509
繰延税金資産	30,970	50,260
その他	10,740	10,448
投資その他の資産合計	750,285	714,217
固定資産合計	3,235,930	3,211,933
資産合計	25,725,203	25,067,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,916,389	2,290,266
電子記録債務	297,759	298,080
短期借入金	9,909,040	9,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,300,012	1,108,180
未払金	418,974	421,824
未払法人税等	14,008	12,164
賞与引当金	21,719	19,858
その他	83,964	122,700
流動負債合計	13,961,866	13,773,073
固定負債		
長期借入金	2,418,412	2,070,636
退職給付に係る負債	126,289	126,968
固定負債合計	2,544,701	2,197,604
負債合計	16,506,568	15,970,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	695,198	697,121
利益剰余金	7,286,002	7,172,924
自己株式	△52,672	△125,755
株主資本合計	8,928,528	8,744,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,867	162,323
為替換算調整勘定	157,239	190,322
その他の包括利益累計額合計	290,106	352,645
純資産合計	9,218,635	9,096,936
負債純資産合計	25,725,203	25,067,614

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高	89,102,685	84,594,373
売上原価	86,529,557	82,504,064
売上総利益	2,573,128	2,090,308
販売費及び一般管理費	1,711,055	1,557,479
営業利益	862,073	532,828
営業外収益		
受取利息	64	1,046
受取配当金	11,250	10,998
為替差益	133,622	—
持分法による投資利益	122	13,110
受取保険金	5,409	345
デリバティブ運用益	57,591	—
受取補償金	—	21,086
その他	5,192	5,072
営業外収益合計	213,252	51,659
営業外費用		
支払利息	124,469	126,844
為替差損	—	176,082
デリバティブ運用損	—	50,389
その他	14,359	3,625
営業外費用合計	138,828	356,943
経常利益	936,497	227,545
特別損失		
投資有価証券評価損	90,973	—
特別損失合計	90,973	—
特別利益		
投資有価証券売却益	—	32,561
特別利益合計	—	32,561
税金等調整前当期純利益	845,523	260,106
法人税、住民税及び事業税	255,348	94,923
法人税等調整額	43,094	△5,077
法人税等合計	298,443	89,845
当期純利益	547,080	170,261
親会社株主に帰属する当期純利益	547,080	170,261

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
当期純利益	547,080	170,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137,825	29,456
為替換算調整勘定	57,465	18,540
持分法適用会社に対する持分相当額	25,967	14,541
その他の包括利益合計	221,258	62,538
包括利益	768,339	232,800
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	768,339	232,800
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	690,564	6,987,654	△65,797	8,612,421
当期変動額					
剰余金の配当			△248,732		△248,732
親会社株主に帰属する 当期純利益			547,080		547,080
自己株式の処分		4,633		13,124	17,758
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,633	298,347	13,124	316,106
当期末残高	1,000,000	695,198	7,286,002	△52,672	8,928,528

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△4,958	73,806	68,847	8,681,269
当期変動額				
剰余金の配当				△248,732
親会社株主に帰属する 当期純利益				547,080
自己株式の処分				17,758
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	137,825	83,433	221,258	221,258
当期変動額合計	137,825	83,433	221,258	537,365
当期末残高	132,867	157,239	290,106	9,218,635

当連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	695,198	7,286,002	△52,672	8,928,528
当期変動額					
剰余金の配当			△283,339		△283,339
親会社株主に帰属する 当期純利益			170,261		170,261
自己株式の取得				△85,400	△85,400
自己株式の処分		1,922		12,317	14,239
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	1,922	△113,077	△73,082	△184,237
当期末残高	1,000,000	697,121	7,172,924	△125,755	8,744,290

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	132,867	157,239	290,106	9,218,635
当期変動額				
剰余金の配当				△283,339
親会社株主に帰属する 当期純利益				170,261
自己株式の取得				△85,400
自己株式の処分				14,239
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	29,456	33,082	62,538	62,538
当期変動額合計	29,456	33,082	62,538	△121,698
当期末残高	162,323	190,322	352,645	9,096,936

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	845,523	260,106
減価償却費	180,493	219,953
受取利息及び受取配当金	△11,314	△12,044
支払利息	124,469	126,844
為替差損益 (△は益)	128,218	147,142
持分法による投資損益 (△は益)	△122	△13,110
投資有価証券評価損益 (△は益)	90,973	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△32,561
売上債権の増減額 (△は増加)	△727,783	623,149
棚卸資産の増減額 (△は増加)	209,326	△416,360
仕入債務の増減額 (△は減少)	△32,527	341,073
前渡金の増減額 (△は増加)	△647,234	404,874
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△801,907	△144,617
その他	△184,633	190,806
小計	△826,519	1,695,257
利息及び配当金の受取額	11,312	11,163
利息の支払額	△125,860	△125,852
法人税等の支払額	△1,127,015	△129,929
法人税等の還付額	—	147,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,068,083	1,598,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,104,432	△647,540
定期預金の払戻による収入	1,004,427	951,707
短期貸付金の増減額 (△は増加)	—	△27,720
有形固定資産の取得による支出	△198,847	△349,024
無形固定資産の取得による支出	△29,403	△670
投資有価証券の取得による支出	△15,461	△10,747
投資有価証券の売却による収入	—	141,271
その他	134	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△343,581	57,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,900,000	△475,450
長期借入れによる収入	1,500,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△1,484,572	△1,439,608
自己株式の取得による支出	—	△85,400
配当金の支払額	△248,731	△283,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,666,696	△1,384,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	114,032	20,591
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△630,935	291,860
現金及び現金同等物の期首残高	1,401,290	770,354
現金及び現金同等物の期末残高	770,354	1,062,215

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)
該当事項はありません。

(表示方法の変更)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、インゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業と美術工芸品の製造・販売を行う美術工芸事業の2つの事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	88,728,438	374,247	89,102,685	—	89,102,685
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	88,728,438	374,247	89,102,685	—	89,102,685
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	88,728,438	374,247	89,102,685	—	89,102,685
セグメント利益又は損失 (△)	864,342	△2,269	862,073	—	862,073
セグメント資産	21,230,042	1,061,723	22,291,766	3,433,436	25,725,203
その他の項目					
減価償却費	165,146	15,347	180,493	—	180,493
持分法適用会社への投資額	243,867	—	243,867	—	243,867
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	348,134	4,313	352,448	—	352,448

(注) 1. セグメント資産の調整額3,433,436千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	84,198,728	395,644	84,594,373	—	84,594,373
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	84,198,728	395,644	84,594,373	—	84,594,373
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	1,720	1,720	△1,720	—
計	84,198,728	397,365	84,596,094	△1,720	84,594,373
セグメント利益	527,661	5,167	532,828	—	532,828
セグメント資産	20,942,399	1,099,329	22,041,728	3,025,886	25,067,614
その他の項目					
減価償却費	206,526	13,427	219,953	—	219,953
持分法適用会社への投資額	271,519	—	271,519	—	271,519
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	406,891	3,748	410,640	—	410,640

(注) 1. セグメント資産の調整額3,025,886千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 千円)

	インゴット	スクラップ	美術工芸品	その他	合計
外部顧客への売上高	27,563,118	61,022,655	374,247	142,663	89,102,685

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 千円)

日本	韓国	その他アジア	ヨーロッパ	その他	合計
70,880,018	7,956,562	8,344,291	1,754,103	167,710	89,102,685

(注) 売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
住友金属鉱山株式会社	16,649,926	非鉄金属事業

当連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	インゴット	スクラップ	美術工芸品	その他	合計
外部顧客への売上高	27,856,669	56,235,932	395,644	106,126	84,594,373

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	その他アジア	ヨーロッパ	その他	合計
66,889,308	8,031,875	7,574,098	1,931,455	167,635	84,594,373

(注) 売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
住友金属鉱山株式会社	17,303,679	非鉄金属事業
J X 金属株式会社	9,762,636	非鉄金属事業

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前連結会計年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前連結会計年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

前連結会計年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	648.06円	644.86円
1株当たり当期純利益	38.49円	12.03円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,218,635	9,096,936
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	9,218,635	9,096,936
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	14,225,034	14,106,784

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	547,080	170,261
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	547,080	170,261
普通株式の期中平均株式数(株)	14,215,142	14,151,340

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他役員の変動

・新任取締役候補

長谷川 豊 (社外取締役)

前川 昌之 (社外取締役)

・退任予定取締役

舛田 敏彰 (取締役 執行役員)

榮森 貞治 (取締役 執行役員)

杉本 護 (取締役 執行役員)

石黒 洋二 (社外取締役)

早川 元雄 (社外取締役 監査等委員)

・新任監査役候補

西島 剛 (社外監査役)

富岡 和治 (社外監査役)

③ 就任及び退任予定日

2023年11月22日